

2009(平成21)年9月2日

館外講座だより6

# 天明浅間焼け追跡バスツアー



葛飾区郷土と天文の博物館

平成21年度第3回目のバスツアーは、通算19回目にして、初めて長野県に足を踏み入れました。今から226年前、天明3年(1783)の噴火で浅間山北麓から吾妻川を下った土石流と同じルートの追跡を試みました。おりしも、9月1日の朝刊各紙は、吾妻渓谷での八ツ場ダム建設問題を大きく取り上げました。その翌日、鉄道の架け替え、橋梁の建設、河川の護岸工事などを目の当たりに見学でき、またダム工事事務所から最新の報告を受けることができました。このツアーが、災害と河川、ダム建設と東京低地のかかわりを、再認識する契機となれば幸いです。

名山(やま)見えず 想いめぐらす 上州路  
 小雨降る 稲穂ながめて 火の国へ  
 浅間山 台風去って バスツアー

浅間山 静かにしてて お願いね



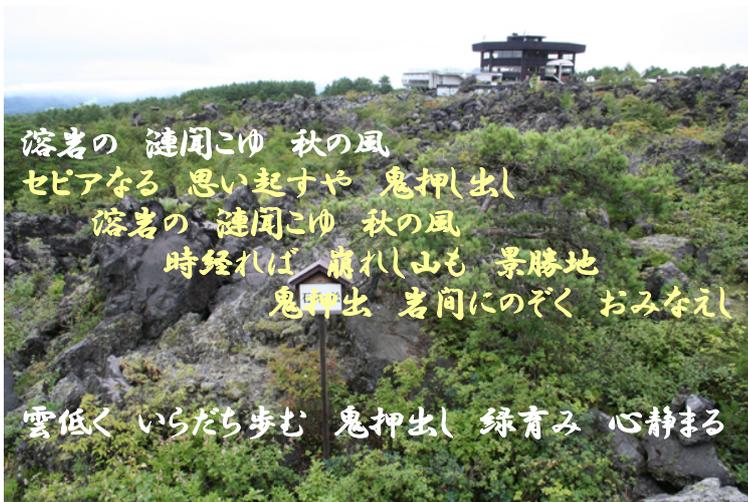
川原に 何気なくある 大岩を 見すごせなくなる 今日からの日日

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
7:30	博物館出発	
7:41	四つ木IC	
7:58	川口JCT	
8:11	大泉JCT	
8:45	嵐山PA	10分
9:13	藤岡JCT	
9:49	碓氷軽井沢IC	
10:35	浅間火山博物館	35分
11:20	鬼押出し園・昼食	90分
13:05	鎌原観音堂	20分
13:56	やんば館	60分
15:55	道の駅 こもち	27分
16:32	渋川伊香保IC	
17:30	三芳PA	10分
18:30	博物館到着	
内山観光バス：フェニックス号		
ドライバー：安田 充さん		
走行距離：422 km (過去最高！)		
応募 134人、キャンセル7名 当日参加46名		
参加費3300円うち見学実費800円		

鬼押出しハイウェイ 六里ヶ原休憩所付近から西方に浅間山をのぞむ 2009.5.26

## ■浅間火山博物館

- 怖かった(3回目)
- 入口付近の噴火の映像にあとずさりするほど驚き!(7回目、ほか多数)
- とても解り易い展示で子供が楽しく学べる所だと思いました(13回目、ほか多数)
- 浅間山の噴火の歴史がよくわかりました(2回目、ほか多数)
- 地球は生きている!!(6回目)
- 天気が今一つで浅間が見えない中に見学で少々がっかりでしたが、事前学習会やバスで説明があったことで再確認するには丁度よい大きさと展示でした(初参加)
- 天明の噴火のすごさを知る事が出来、歴史の重さをつくづく感じました(2回目、ほか多数)
- 大きなおみやげコーナーにある博物館?(4回目)
- 人間は自然に生かされていると実感した(3回目)
- 平易すぎる(3回目、ほか多数)



### ■鬼押し出し

- 30 数年前に2度訪れた時は、溶岩がもっとゴツゴツ露出していたようですが、積年で草木が大きくなりかなり緑豊かになったなと感じました(2回目、ほか多数)
- 燈ろうがなぜこんな所に? なぞがわかりました(初参加)
- 時間もたっぷりあり、十分に満喫できた。芝増上寺の燈籠は、残念でもあり異様であった(3回目)
- 巨大な溶岩のかたまりを左右に見、遠くに緑を展望し、気分はスッキリ(3回目)



- 天気がよければ溶岩の奇怪さがもっと見れたと思う。はじめての自然にはおどろきです(7回目)
- とても静かで秋を感じながら歩いた。でもあの岩たちがおいかけてきたらどうしょー(2回目)
- 想像を越えた大自然のはげしさに、強烈な感動と印象を受けました(初参加)
- 奇岩怪石がすばらしい見ものであった。溶岩の間に高山植物が咲いて愛らしかった(5回目)。
- 天明の噴火で出来た溶岩の姿が今もって、いろいろな景観を有しているのが貴重なものだと思います(初参加)。



○浅間噴火がもたらしたプラス面→独特の景観=観光資源(6回目)

### ■鎌原観音堂

- 善養寺と題経寺で見ていた供養碑の墓に行くことができ感激です(初参加)
- 階段を登りきった93名が助かりその子孫の方々がボランティアで堂守りをしているとのこと。お茶と漬物の接待に真心がこもってました。一人でも多くの人に災害を話し、聞かせたいとの心情、時間があつたらゆっくりしたいところでした(7回目)
- 地域の人々が観音堂を守っていたことに気持ちが動いた。災害を風化させてはいけないという思いを感じた(3回目)
- ずっと遠い話と思いながら、いろいろ昔の人から聞いた話を思い出しながら、子供達にも話してあげたいです(3回目)
- 一度行ってみたかった所です。大変感動しました(3回目、ほか多数)
- 掘り出した階段がすごい。お寺の標石が25km下流に流れ、戻ったことに感動(8回目)
- 前もって頂いた資料の写真は見ておりましたが、現実に見たときはショックでした(2回目)
- 橋の下の階段はあの2名が発見された所かと思うと、無念さが伝わってくるようでした(3回目、ほか多数)
- 火山噴火を追体験できた(4回目、ほか多数)
- あと一歩だったのに…(2回目)



## ■やんば館

- 新聞記事トップ記事の現場に翌日訪れた事はめったにないタイムリーな経験でした。自分がどう判断するかはこれからの課題となります(初参加)
- 山を削り、集落を移転させ、道・橋・鉄道・トンネルを作るなど大規模工事のすごさに感嘆することは当然でしたが、その裏で生まれ故郷や田畑を捨てざるを得なかった住民の方々の心境はいかがだったかと…胸が痛みました。民費を投入し自然を壊す事業…本当に必要なのか…わかりません！(2回目)
- 写真のいっぱい入った資料と丁寧な説明でダムの事を知ることができました。実際にバス車中から見た工事の現状も心に残り、これからダムの事についても興味を持っていきたいと思いました(初参加)
- 説明は親切だった。ダムは戦艦大和を思い出す(初参加)
- ダムの計画が今後どうなるか心配ですが、見学して現状が分かって、現場でやられている方々の苦労を感じました(2回目)
- グッドタイミングの問題提起。莫大な投資、入札中止か継続か、今後が注目されます(3回目)
- 一連の工事が約80%も進捗している現状を政権が変わったということで中止にするのはもったいない(2回目)
- ダムをつくる必要はまったくないと感じた。ここでやめるには歴史的転換で大きな意義がある。これまでの工事の公共投資はそれ自体で経済的にうるおった人々がいたと思えば無駄ではない(4回目)



## ■その他・自由欄

みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数)です。

- 天明浅間噴火からカスリーン台風に至る流れが、詳しい説明・資料でよ～くわかりました(初参加)。
- 六里ヶ原の風景や吾妻川の景観の変化に興味を持って見る事ができたのは事前学習があったからこそです。3枚の地図から浅間の世界が拡がりました(6回目)。
- 運動も出来、歴史も肌で感じ、食事もおいしく、お土産も安く、野菜がたくさん変えて大満足(2回目)。
- 古代一昔一現代、一気に一日でみた様です。大変よかったです(7回目)
- 帝釈天の供養碑に母方の曾祖母は彼岸毎に線香をあげていたという、母のことばを思い出した(7回目)
- 大変良かったと思います。…が、楽しみにしていた赤城・妙義・榛名・浅間山の全山がくもり空のため見る事が出来なかったことは残念でした(2回目)
- いつもながら、ガイドさん裸足でにげ出す程の解説で楽しく一日過ごさせていただきました(5回目)
- スタッフの皆様の姿勢にマグマを感じ、そこから流れ出てくる言葉が豊富で楽しいですね♪(6回目)



吾妻川 万座鹿沢口付近

## ツアー後記

百聞は一見到にしかず…、鬼押出しの奇岩、吾妻溪谷の景観、そしてダムの工事進捗状況、みなさんの思いがひしひしと伝わってきたアンケートでした。私たちの東京低地が擁している様々な環境問題をこれからも一緒に考えていきたい想いを新たにしました。熟考の秋であらんことを……。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸 山本 俊



葛飾区郷土と天文の博物館  
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1  
TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>